

プリミドン錠 250mg 「日医工」
 プリミドン細粒 99.5% 「日医工」

【この薬は？】

販売名	プリミドン錠 250mg 「日医工」 Primidone Tablets 250mg	プリミドン細粒 99.5% 「日医工」 Primidone Fine Granules 99.5%
一般名	プリミドン Primidone	
含有量	250mg(1錠中)	995mg(1g中)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗てんかん剤で、バルビツール酸誘導体と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳の過剰な興奮をはずめて、てんかん発作を抑えるはたらきがあります。
- ・次の病気の人に処方されます。

てんかんのけいれん発作

強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）

焦点発作（ジャクソン型発作を含む）

精神運動発作

小型（運動）発作〔ミオクロニー発作、失立（無動）発作、點頭てんかん（幼児けい縮発作、BNS けいれん等）〕

- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にプリミドン錠・細粒「日医工」に含まれる成分、またはバルビツール酸系化合物（バルビツール酸誘導体）で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・急性間欠性ポルフィリン症の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・高齢の人
 - ・虚弱な人、呼吸機能の低下している人
 - ・頭部外傷後遺症のある人または進行した動脈硬化症のある人
 - ・心臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
 - ・薬物過敏症の人
 - ・甲状腺機能低下症の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

[成人の場合]

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	治療初期 3 日間	4 日目以降
一日量	250mg	3 日毎に 250mg ずつ増量し、症状によっては 1 日量 1500mg まで徐々に増量する
飲む回数	1 日 1 回就寝直前	1 日 2 ～ 3 回

- ・1 日量は最高 2000mg まで増量することができます。

[小児の場合]

通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

	治療初期 3 日間	標準投与量
一日量	125mg	2 歳まで
		3～5 歳まで
		6～15 歳まで
飲む回数	1 日 1 回就寝直前	1 日 2 ～ 3 回

- ・治療初期以降は、3～4 日毎に 125mg ずつ増量して、標準投与量まで徐々に増量されます。

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分をすぐに飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

- ・嗜眠、構音障害（ぎごちない話し方、発音が不明瞭になる）、眼振、眼筋麻痺（眼を自由に動かさない）、運動失調（手足の運動がうまくできない）、深部腱反射消失、意識消失、呼吸抑制、昏睡、結晶尿などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を続けて飲んでいいる場合に、急に薬を減量したり使用を中止したりすると、てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態（てんかん重積状態）があらわれることがあります。この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。特に高齢の人、虚弱の人が使用する場合には注意が必要です。自分の判断で薬を減量したり飲むのを中止ししたりせず、医師の指示通りに飲んでください。
- ・この薬の使用中は、定期的に肝機能検査・腎臓機能検査、血液検査が行われることがあります。
- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・アルコール飲料は、この薬に影響しますので控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を行う場合には医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす

同類薬（フェノバルビタール）であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死症（Lyell症候群） ちゅうどくせいひょうひえししょう（ライエルしょうこうぐん）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱（すいほう））、発熱、食欲不振
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、めまい、関節の痛み、発熱、高熱
顔面	鼻血
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血
胸部	動悸、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ
腹部	食欲不振
皮膚	赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、あおあざができる
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす、陰部の痛み、出血が止まりにくい

【この薬の形は？】

販売名	プリミドン錠 250mg 「日医工」	プリミドン細粒 99.5% 「日医工」
形状	素錠 (割線入り)  	細粒 
直径	9.5mm	—
厚さ	4.6mm	—
重さ	0.28g	—
色	白色	白色
識別コード	n 5 2 5	—

【この薬に含まれているのは？】

販売名	プリミドン錠 250mg 「日医工」	プリミドン細粒 99.5% 「日医工」
有効成分	プリミドン	
添加物	カルメロースカルシウム、ポビドン、ゼラチン、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸	ヒドロキシプロピルセルロース

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
[プリミドン錠の場合]
- ・ 室温（1～30℃）で保管してください。
[プリミドン細粒の場合]
- ・ 湿気を避けて、室温（1～30℃）で保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

日医工株式会社 (<http://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル) : (0120)517-215

受付時間 : 9時～17時 (土、日、祝日その他当社の休業日を除く)